

高志

長岡高専同窓会報 第19号

発行月 平成28年12月

主な内容

会長あいさつ	1
名誉会長あいさつ	2
副会長あいさつ	3
事業及び支援	4,5
TOPICS	6
部活動紹介	7,8
体育大会入賞者	9
OB通信	9
退職のことば	10,11
教職員の異動	12
学科生及び専攻科生の進路状況	12
同窓会長賞受賞者紹介	13,14
決算及び資産報告	15
新常任理事あいさつ	16
事業年表・編集後記	17

会長あいさつ

(高専土木1回卒) 伊藤恒彦



会員の皆様方におかれましては、ますますご健勝のこととお慶び申し上げます。

今年も世界各地で地震や洪水などの大きな災害が発生しており、国内においても、「熊本地震」や過去に台風被害の経験が少ない東北、北海道地域に大きな被害を与えた「台風10号」により、多くの方々が今も仮設住宅等で不便な生活を送られている状況があります。

近年の世界的に大きな災害が頻繁に発生する状況は地球温暖化の影響もありますが、地球全体に何らかの変化が起こり、自然環境にも大きな変化が起きているのではないのでしょうか。

また、日本の経済も、「デフレからの脱却そして経済再生」を最優先に施策を展開した事により、一時は雇用の増大や給与の増加など好循環の状況にあると言われましたが、ここに来て、好循環の状況が国民の多くに実感され生活実態が良くなったと感ぜられる状況にないことから、経済対策補正予算の施策を展開し、経済成長をさらに推し進めて景気の好循環を取り戻す事が出来るか、今後の日本経済にとって大切な時ではないのでしょうか。

一方、科学・技術の分野におきましても、東京工業大学の岡野栄教授がノーベル医学・生理学賞を受賞し3年連続の受賞という偉業を達成した。また、山中先生によるiPS細胞の発見により、

病気の原因の解明、新しい薬の開発、再生医療などの分野で研究が進められており、今後の医療技術が飛躍的に進歩し多くの尊い生命が救われる時代が到来する事を期待しています。

母校も創立から半世紀を過ぎ、約一万人の卒業生が社会の中において技術者として様々な立場で活躍しており、今後とも国内はもちろん海外においても活躍される人材が育ち、巣立って行くことを期待しています。

そんな中、今年の6月にドイツで開催された「ロボカップジュニア2016世界大会」に本校の学生チームが国内予選を勝ち抜き出場し、個人戦は20チーム中7位、団体戦（スーパーチーム：4カ国合同チームでの対戦）で見事優勝いたしました。大変素晴らしい出来事であり、後輩の学生達にも期待したいと思います。

今、国内においては道半ばの東日本大震災からの復旧・復興、福島原子力発電所事故の後処理など大きな課題を抱え、世界各地では異常気象による自然災害の発生など、私たちを取り巻く環境は何が起きてもおかしくない状況にあると思います。このような多様に変化する社会においては、変化を的確に捉え、より早く変化に対応ができ、社会の要請に応えられる技術者が求められているのではないのでしょうか。

最後に、長岡高専と高志会の更なる発展、会員の皆様のますますのご活躍とご健康を祈念申し上げます、挨拶とさせていただきます。

名誉会長あいさつ

卒業生の活躍が誇りと自信に、 誇りと自信が力に

長岡工業高等専門学校長

渡 邊 和 忠



毎年、夏に後援会の支部懇談会が開催され、本校からも多くの教員が出席して保護者との連携を深めています。ある支部の情報交換会では、毎年、本科5年生、専攻科2年生の保護者全員が壇上で挨拶

をされます。その場で、多くの保護者は、子供が高専で立派に成長したことに加えて、進学・就職先もあまり苦勞なく決まった、高専に子供を入学させて良かったと感謝の言葉を述べて下さいます。本校から国立大学にスムーズに編入学できることや企業からの高い求人倍率は、これまでの卒業生の活躍があるからこそと、心から感謝しています。

卒業生の活躍は、優秀な志願者を確保する上でも大いに役立っています。中学生の保護者は高専卒業後の進路に強い関心と興味をもっておられます。卒業生の活躍のお蔭で、教職員はオープンキャンパス等で誇りと自信をもって進路説明等を行うことができます。オープンキャンパスの参加者数と志願者数

には強い相関関係がありますが、15歳人口が減少する中で今年度のオープンキャンパスの参加者は初めて千人を超えました。卒業生、在校生、教職員の自信と誇りが中学生や保護者に伝わっているのだろうと確信しています。

長岡高専は、今年度から全国の高専の中で2校しかない研究推進モデル校の1つに認定され、また、課外活動では、今年度はロボティクス部が日本代表として世界大会に出場して団体戦で優勝、高専体育大会では9部が全国大会に出場と、教職員も学生も元気に頑張っています。

卒業生・在校生の活躍を見て優秀な学生が長岡高専に入学し、教職員は誇りと自信をもって教育研究に従事し、学生は勉学や課外活動に励み、卒業生は活躍して社会に貢献する、このような正のサイクルが回り始めている気がします。このサイクルを更に加速できるように、卒業生の皆様方には今後とも長岡高専をより一層、応援して頂きますよう、お願い申し上げます。



副会長あいさつ

田上町出身の卒業生

副会長（高専電気9回卒）

浅野 一 志

私は昭和28年に南蒲原郡田上村に生まれました。田上村は昭和48年に町となっています。田上町はどこにあるんだという問いには、加茂市の隣町と答えていました。平成の大合併でも田上は合併をせず、自立の道を選択しています。この頃の事情については佐藤町長の「意向調査の結果を尊重、自立へ」に詳しく書かれています（羽貝正美監修、「平成大合併 新潟県の軌跡」、新潟日報事業社、2007年9月20日）。

私が知っている田上町出身の卒業生には、窪田さん（工業化学2回）、志田さん（電気9回）、市川さん（物故者、電気11回）、船久保さん兄弟（機械34、38回）がいます。

窪田（旧姓田巻）さんはこの6月まで町の監査委員をしていました。羽生田駅近くにある羽生田製作所の社長をされていたと思います。以前は全く知りませんでした。卒業生名簿を見ていて、町の監査委員と同姓同名ということを知り、知人の葬儀の時にご挨拶しました。

志田さんは私の同期です。以前、第二精工舎に在籍していましたが、新潟に戻ってきて、現在は新潟市に住んでいます。彼の実家は田上町役場の近くです。

市川さんは卒業後新潟県警に勤務し、交通管制の仕事をしていましたが、この5月に交通事故で亡くなりました。以前、私の隣の家に住んでいました。彼は幼馴染でもありました。インターネットにかかわっていた頃、新潟県警でもサイバーポリスを作ることになったという話があり、警視を紹介されたことがありました。それ以降は、特に連絡がありませんでしたが、今年の10月に、思いもしない、菩提寺で行われた「常齋米（じょうと

きまい）」のお齋（とき）の席で「浅野さんですよ。市川です。」と言われました。40数年ぶりということもあり、ぜんぜんわかりませんでした。帰り際に少しだけ話しましたが、お母さんが1月に亡くなったとのことでした。さらに、前議会事務局長などと3人（田上中 OB）でたまに会って懇親会をしているとのことでした。局長に尋ねると、寺泊あたりで懇親会を行い、彼は、自転車で家に帰って行ったと聞きました。その局長は3月で退職しましたが、5月のある日の夕方、前議会事務局長から市川さんが亡くなったことを聞かされました。あらかじめ、ご遺族に連絡したようで、葬儀場も教えていただきました。葬儀には、学友会執行部で一緒だったという山崎副校長と一緒にいってきました。

そして、若いお二人の船久保兄弟。卒業生名簿を見ていて、彼らを知ったのは昨年でした。家も割と近くでした。お兄さんの弥さんは自営でお仕事をして、商工会青年部でも活躍しています。弟の栄彦さんは昨年からは農家を営んでいるとのことです。このお2人とはfacebookでもつながっています。

さて、いろいろと書きましたが、市川さん、船久保兄弟、そして私も「田上町吉田新田」の出身です。また、私の同級生は知っていると思いますが、私は、田上町に生まれましたが田上の小中学校には行かず、加茂市の小中学校を卒業しました。当時、私が住んでいた地区には越境入学者が多くいました。なお、私の子どもたちは、町立の保育園そして小中学校を卒業しました。

長岡高専サイエンスフェスタ in 新潟

電気電子システム工学科

(高専電気10回卒) 山崎 誠

平成25年度から、新潟市の新潟県立自然科学館で「長岡高専サイエンスフェスタin新潟」を開催しています。子供たちに、科学や工学の楽しさを実験やLEGOロボット製作を通じて体験してもらい、同時に長岡高専を広く知ってもらえる機会になると考えて続けています。この企画は同窓会や後援会にも協力いただいています。

平成26年10月5日(日)に科学館のエントランスホールで科学実験の体験学習を実施しました。コマ対戦、モータ製作、レンチキュラーレンズ、お米の細胞観察、微生物観察の5テーマの体験ブースを設けました。当日の入館者は1,277名、各ブースには100～180名の来場があり、盛況でした。また、ロボット教室を平成27年3月7日(土)に開催しました。

昨年度は、平成28年3月12日(土)に開催しました。エントランスホールにて4テーマ(ロボットで遊ぼう、わくわく科学実験、浮沈子でお宝ゲット、ロボット操作体験と展示)、講堂にて1講座を実施

し、のべ509名の方に体験をしてもらいました。来場者の多くは小学校低学年以下で、ロボット操作や工作で少し難しく感じられるテーマにも、教職員と学生スタッフが優しく教えてサポートし、子供達の楽しむ姿が見られ、科学やもの作りに興味を持ってもらうことができました。今年度も継続して実施する予定です。



ISATE2015の開催

ISATE2015運営委員長

(高専土木7回卒) 荒木 信夫

第9回国際工学教育研究集会(The 9th International Symposium on Advances in Technology Education)を昨年2015年9月16日から9月18日にかけて、本校がホスト校となり、ホテルニューオータニ長岡、アオーレ長岡を会場に開催しました。この国際工学教育研究集会(ISATE)は、独立行政法人国立高等専門学校機構、両技術科学大学とシンガポールのポリテク5校(Nanyang Polytechnic, Ngee Ann Polytechnic, Republic Polytechnic, Singapore Polytechnic, Temasek Polytechnic)の運営によって技術者教育、工学教育や国際交流に関する教育上の経験を共有し、新たな教育方法の展開を目指して開催しているものです。今年度は“A New Insight for Future Engineering and Educational Systems”をテーマとし、海外から64名、国内から107名の参加者を迎え

グループワークを中心とした内容で実施しました。シンポジウムでは活発な議論、意見交換がなされ、参加者全員が交流を深め、盛況のうちに無事終了することができました。シンポジウム前日の長岡高専でのキャンパスツアーでは、専攻科生が学校や各自が行っている研究について英語を使って説明しました。趣向をこらした説明に海外からの参加者からは絶賛していただきました。また、シンポジウム当日も会場の案内係として専攻科生の協力を仰ぎました。教育方法の改革やグローバル化が急速に進展しています。高専は、技術者教育の実践の場として、あらたな時代を見据えた技術者教育とはなにかを常に追い求めていく必要があります。今回のISATEの長岡での開催は教職員だけでなく、専攻科生にとっても良い学習の機会であったと確信しています。



平成27年度高志会総会報告

平成27年度 同窓会総務

平成27年11月28日(土) ホテルニューオータニ長岡3F桜にて、高志会総会を開催しました。

例年に比べると小規模となりましたが、お忙しい中43名の会員にお集まりいただきました。議長には、会長が満場一致で選任され、下記の議事が議決されましたので御報告申し上げます。

【議事1】会則変更 (18条、会計年度締め日の変更) について：会則18条では、「本会の会計年度は4月1日から翌年3月31日までとする。」と定めていますが、理事総会は、同窓会長賞選出のため卒業式前に行う必要があり、3月中の開催となっています。会計締め日以降に会計監査を行い、理事総会で決裁を得る流れが望ましく、今年度から会計の締め日を2月末に変更する事が、賛成多数で承認されました。

【議事2】会則変更 細則(4) 会計処理方法について：同窓会則 細則(4)では、「本会の会費納入事務取扱いは長岡高専会計課長に依嘱し、資産の保管は高志会会計係で取扱い、会長が管理する。」となっていますが、機構本部・学校会計から、原則学校預けとして処理する要望がありました。細則の一部を削除し「本会の会費出納事務取扱いは長岡高専に依属し、資産の保管は高志会会計係で取扱い、会長が管理する。」へ変更する事が、賛成多数で承認

されました。【議事3】会則変更 細則(7)「卒業10年以上の会員の名簿等の配布は有償とする。」の削除について：平成22年を最後に、冊子体名簿の発行を廃止しています。現在は、用途別に印刷紙面による名簿発行を行っており、運用に関しては同規約内にて規定されているため、会則中の文言は不要であり、削除する事が賛成多数により承認されました。議事の他には、事業、資産内訳、平成27年度役員についての報告があり、会議の目的事項は滞りなく執り行われました。また、総会後の懇親会では当時の懐かしい話に花が咲いていらっやいました。皆様のご協力に大変感謝申し上げます。今後開催される総会におきましても、皆様お誘い合わせの上、御出席の程よろしくお願い申し上げます。



ロボカップ2016 ライブツイヒ世界大会に出場して

平成28年6月29日～7月3日にドイツのライブツイヒで開催されました RoboCup2016 にロボティクス部の電子制御5年藤澤郁也さん、電子制御5年高松哲哉さん、機械5年高橋知也さんらのチーム「Cat-Pot」が Junior Soccer Open に出場致しました。RoboCup2016 全体としては、45カ国3,500人の選手が参加し、大会期間中に35,000人が訪れました。Junior Soccer Open では、15カ国、20チームが参加しており、日本からは、3チームが出場しました。選手以外はコートやその他の場所に入ることが出来ず、選手自身の力で乗り切らなければならない大会です。試合の合間なども他国の選手と交流を図るなど、これまでに体験したことのない本気の英会話でのコミュニケーションにチャレンジしておりました。

本大会では、個々のチーム戦(個人戦)と合同チーム(Super Team)戦の2種類が行われました。個人戦はスイス方式という方法が用いられ、対戦成績によって次の試合相手が決まる方式であり、勝ち進むことで上位に上がる方式です。試合が終わり、全データを集計した上で、順位と対戦相手が決

ロボティクス部顧問

床井良徳

まる方式であり、真の実力を試される試合形式です。全7試合行われ、マカオ、スロバキア、エジプト、ポルトガル、メキシコ、イスラエル、ドイツのチームと対戦し、4勝3敗で7位となりました。Super Team 戦は、ロボットを通じたコミュニケーションの場であり、合同チーム内において戦略や担当箇所を話し合い、試合を行う形式です。マカオ、イタリア、ドイツの合同チームで全4戦を戦い、4勝0敗と健闘し、1位を獲得し、RCJ Soccer Open Super Team 1st Place を受賞し表彰台に上がりました。

最後になりましたが、このような貴重な体験をさせて頂いた事に深く感謝致しますと共に、今後もロボット製作を通して世界に情報発信できるよう日々努力をして行きたいと思っております。



ノーベル物理学賞天野先生特別講演会

総務主事

(高専土木7回卒) 荒木 信夫

平成28年6月4日(土)に長岡市立劇場大ホールにて、本校全学生の他に中学生、高校生や市民の方々にも参加していただき、名古屋大学の天野浩先生の特別講演会を実施しました。天野先生は青色発光ダイオードの開発で2014年にノーベル物理学賞を受賞され、今回のご講演のタイトルは「世界を照らすLED」でした。この特別講演会は、本校の山崎誠副校長が名古屋大学大学院時代に天野先生と同じ研究室(赤崎研究室)に所属していた縁で実現したものです。

講演は、ノーベル賞授賞式でのエピソード、研究への取り組み、若い人達へのメッセージの内容で、時折ユーモアを交え、楽しいお話でした。天野先生が何事も自分自身でやらないと物足りなかったこと、青色発光ダイオードの開発では失敗にも挫けずに1500回以上も実験を重ねたことなど刺激のある話題に学生達も目を

輝かせていました。マイクロソフト創業者のビル・ゲイツ、アップル創業者のスティーブ・ジョブズ、フェイスブック創業者のマーク・ザッカーバーグなど、「世界を変えるのは若い人だ」と学生達に覚悟を持つようにと訴えられました。

講演後、山崎先生との座談会を挟み、参加していただいた中学生、高校生、そして本校の学生からも質問があり、天野先生は「難しい質問ですね」と困った顔をされながらも熱く丁寧に回答されました。ご講演の内容も中学生、高校生、高専生が理解できるように考慮されたものであり、有意義な特別講演会となりました。

講演会実施にあたり、ご理解とご協力いただきました名古屋大学に感謝申し上げます。また、後援をいただきました長岡高専後援会、同窓会、技術協力会のみなさまに感謝申し上げます。

研究推進モデル校としての活動

研究推進室長

(高専土木7回卒) 荒木 信夫

長岡高専は平成27年度に高専機構の研究推進モデル校トライアル事業に採択され、高専内の研究推進活動を展開しています。この研究推進モデル校事業は平成27年度にはじまったものであり、平成27年度には全国51高専の中で長岡高専と鶴岡高専がトライアル校として選ばれました。平成28年度はこの両高専は正式に研究推進モデル校となり、機構より予算を頂いて活動しています。また、新たなトライアル校として富山高専、宇部高専と鹿児島高専が採択されています。

この研究推進モデル校は、学校全体で研究推進、産学連携、外部資金獲得、教育への研究成果の還元を目的として取り組み、得られた成果を教育に積極的に取り入れ、学生のレベルアップに繋げることをミッションとしています。

本校のモデル校活動では、片桐教授が主導している

世界的な太陽電池の研究が進行しており、この最先端の研究を、全国の高専の中でこのテーマに関連した教員の連合グループを作り、協働して推進していく活動をはじめました。また、1~4年生にも研究を経験して貰うプレラボ制度や学生が企業に伺って社員の方々にインタビューして課題を抽出し、解決策をシステムデザイン的に考案して提案させていただくJSCOOPも実施しています。

高専の最大の特長は早期の技術者教育です。この特長を活かすためには教員が研究を通じて進展の著しい工学技術を吸収し、それを教育に反映させていくことが重要です。本校の研究推進モデル校の取り組みは全国の高専から注目されています。しっかりとした成果を残し、研究面で全国の高専のまさにモデルとなるような活動にしていく所存です。

部活動紹介

柔道部顧問 田原喜宏

本校柔道部は2016年9月現在、男子19名、女子2名の計21名（うち専攻科1名）の部員が所属しています。

普段の練習時間は平日に1時間半程度、土曜日に2時間半程度と決して長くありません。しかし、基礎体力作り、立技、寝技、試合技術の研究に併せて、各人の体力や技術に合わせた練習を行うことで密度の高い内容を維持しており、その結果として長きに渡り全国高専大会への出場を果たしております。全国大会においては3年間連続して男子団体戦で3位に入賞しており、一昨年度は個人戦でも3位に入賞しました。また本年度は関東信越地区大会においては3年連続優勝の他、男子個人戦での全階級制覇を始め、9名が入賞を果たすなど、素晴らしい活躍を見せてきています。

部員の約半分は本校に入学してから初心者として始めておりますが、全員がしっかりと練習に取り組み、上記のような素晴らしい試合結果を出してくれています。今年度は実に6年振りの女子部員2名を含む



関東信越地区高専大会（長野運動公園総合運動場柔道場）



第51回全国高専大会（石川県立武道館）

4名が入部してくれました。4名とも初心者ですが、熱心に練習に取り組み、2名は既に初段を取得するなど、来年度には更なる活躍が期待されます。

また、春にはすき焼き食事会、冬にはスキー合宿などのレクリエーションなどを通じて部活動内での親睦も深め、より良い部活動ができるように努めております。試合結果などは本校の柔道部 HP：
<http://www.nagaoka-ct.ac.jp/st/judo/> から御覧頂けます。

最後に、柔道部の卒業生が組織する柔友会の皆様には平素より多大なるご支援を頂いており、特に毎年1月3日に高専柔道場で行っております初稽古におかれましては多くの先輩方にご参加頂き、現役学生にとりましては大いに励みになっております。この場を借りて厚く御礼申し上げます。

長岡高専水泳部の活動記録

水泳部顧問 大湊佳宏

平成17年に本校に赴任し、水泳部の活動をお手伝いさせていただき12年が経とうとしております。現在の長岡高専水泳部は、全員がそろって冬季間は隣の悠久山屋内プール、夏季は高専のプールで万里一空の思いで練習に取り組んでおります。8月の柏崎での夏合宿をはじめ、年末や春休みにも合宿を行い、チーム作りや強化練習を行っております。

入部してくる選手たちのやる気と皆様の応援のおかげで、今年度は男子800mリレーと個人種目で北信越高校総体（長野県）に出場を果たしました。関東信越地区の高専大会（群馬県）においては、総合優勝4連覇を成し遂げました。昭和59年～平成4年は9連覇、平成7～12年は5連覇を成し遂げている長岡高専水泳部の歴史から見ればまだまだの成績ではありますが、他の部活動に負けないうくらい健闘していると思われれます。全国高専大会（富山県）においても、総合7位に入賞するなど、表彰台は逃しましたが、決勝にコマを進める選手が複

数存在するチームになっております（詳細は、本校HPをご覧ください。）

今年度、北信越高校総体に参加するにあたり、長岡高専水泳部のOBの方々より寄付を頂きましたこと、ここに記して感謝申し上げます。また、平成29年度の関東信越地区高専大会（海の日）に開催予定は長岡（DPフェニックスプール）で開催されます。選手たちの活躍を是非とも間近に観に来ていただき、その傍らで競技役員のお手伝いを頂けると幸いです。ご協力いただける方は、水泳部顧問の大湊までご一報ください。



H28高専地区大会（群馬）



H28長岡高専プール清掃

バスケットボール部活動報告

(高専工業化学15回卒) 鈴木 秋 弘

【平成28年度関東信越地区高専体育大会バスケットボール競技】

期日：7月15～17日

場所：エスフォルタアリーナ八王子

参加チーム：関東信越地区 男子：10チーム（長野、サレジオ、長岡、群馬、産技荒川、木更津、小山、東京、茨城）、女子：8チーム（長野、産技荒川、サレジオ、長岡、茨城、群馬、東京、木更津）

男子は、初戦の相手がサレジオ高専で、前半は37：35の僅差のリードでの折り返しとなりました。しかし、後半は徐々に自分たちのペースで試合を展開し、84：69で勝利しました。続く2回戦は、地区大会6連覇中の長野高専でしたが、前半から速攻、3P、ゴール下の合わせなど随所に長岡らしさを出すことができ、78：55で勝利しました。長野の連覇を阻止した勢いで、準決勝は産技荒川に89：50、決勝の茨城には90：41で勝利して地区大会優勝と全国大会出場切符を手に入れました。

女子は、初戦の相手が男子と同じサレジオ高専で、最初から危なげなく84：22で勝利しました。次は、準決勝となり、相手は昨年度全国大会準優勝の長野高専（今大会優勝）です。運動量とシュート確率の差が出て、105：33の完敗でした。部員数、練習量ともまだまだ不足していることを再確認させられました。



開会式

【第51回全国高等専門学校体育大会バスケットボール競技（男子）】

期日：9月2～4日

場所：三重交通グループ スポーツの杜伊勢・体育館

参加チーム：男子16チーム（松江、鳥羽商船、新居浜、富山（射水）、仙台（名取）、津山、茨城、神戸市立、北九州、大阪府立大学附属、香川（高松）、苫小牧、長岡、佐世保、福島、豊田）

昨年の50周年記念大会から、参加チーム数が12チームから16チームに増加し、さらに今年から試合形式が、予選リーグ戦無しのトーナメント戦となりました。

長岡は、初戦が九州地区2位の佐世保でした。4番キャプテンが黒人系のハーフで、運動能力、リズムとも日本人とはちょっと違う！1on1が強いという感じでした。1Qが11：11、2Qが13：30、3Qが15：13、最終4Qが10：20、トータル74：49で敗退しました。久しぶりの全国大会という緊張感に加え、自分たちのリズムと仲間との連携を出せなかったことが敗因だと思われます。試合終了後、悔し泣きする選手達を見て、金子コーチ、山岸顧問共々、来年もこの全国の舞台に立とうと誓いました。

今回の全国大会参加に際しては、同窓会からも遠征費のご支援をいただき、感謝申し上げます。今後も女子部共々練習に励み、結果を残せるように頑張っていきたいと思います。引き続き、ご支援よろしくお願い致します。



参加チーム

体育大会入賞者

平成26年度 全国高等専門学校体育大会

◎柔道			
男子団体	3位		
男子個人戦90kg級	3位	森山	諒
◎水泳			
男子400m自由形	4位	大倉真一希	
男子800m自由形	4位	大倉真一希	
	5位	山賀	大暉

関東信越地区高等専門学校体育大会

◎卓球			
男子個人戦シングルス	ベスト8	新保	貴也
男子個人戦ダブルス	3位	齊藤・早川	組
◎バドミントン			
女子団体	2位		
女子ダブルス	2位	茨木・岸	組
◎ソフトテニス			
女子個人戦	3位	佐藤・中澤	組
◎バレーボール			
男子	優勝		
◎バスケットボール			
男子	3位		
◎剣道			
女子個人の部	3位	伊東	日和
◎ハンドボール			
男子	2位		
◎柔道			
男子団体	優勝		
男子個人戦60kg級	優勝	佐藤	峻登
男子個人戦73kg級	3位	武石	敬也
	3位	三五	彬喜
男子個人戦90kg級	優勝	浦井	孝太郎
	2位	森山	諒
	2位	渡部	領一
	2位	品川	彰
男子個人戦90kg超級	2位		
◎水泳			
総合	優勝		
男子400mフリーリレー	2位	佐藤	瑠唯
男子400mメドレーリレー	2位	大倉真一希	
男子100m自由形	2位	武田	雅平
男子400m自由形	優勝	山賀	大暉
	2位	大倉真一希	
男子800m自由形	優勝	金子	泰士
男子100m背泳ぎ	優勝		

男子200m背泳ぎ	3位	井嶋	稜之
男子100m平泳ぎ	優勝	西木	航
男子200m平泳ぎ	3位	吉野	拓弥
男子200mバタフライ	2位	佐藤	瑠唯
男子200m個人メドレー	優勝	石丸	美穂
男子100m平泳ぎ	3位	石丸	天依
女子50mバタフライ	3位		
◎陸上			
男子800m	3位	井守	優和
男子1500m	3位	井守	優和
男子110mハードル	優勝	田中	大地
	3位	大谷	俊介
男子砲丸投	3位	高畠	魁人
男子円盤投	3位	平山	大樹
男子800m	優勝	岡崎	恵子
女子1500m(地区大会種目)	優勝	岡崎	恵子

平成27年度 全国高等専門学校体育大会

◎バドミントン			
女子ダブルス	ベスト8	岸・松井	組
◎柔道			
男子団体	3位		
◎陸上競技			
男子800m	7位	井守	優和
男子110mハードル	7位	田中	大地
女子100m	8位	森	菜々子
◎水泳			
男子400mメドレーリレー	8位		
男子400m自由形	3位	山賀	大暉
男子200m個人メドレー	5位	佐藤	瑠唯
男子800m自由形	6位	山賀	大暉
男子200m自由形	7位	大倉真一希	

関東信越地区高等専門学校体育大会

◎野球			
男子	3位		
◎バドミントン			
女子団体	優勝		
女子ダブルス	優勝	岸・松井	組
◎バレーボール			
男子	優勝		
◎ソフトテニス			
女子シングルス	優勝	中澤	文香
女子ダブルス	優勝	中澤・古屋	組

◎ハンドボール			
男子	2位		
◎剣道			
女子個人の部	3位	伊東	日和
◎柔道			
男子団体	優勝		
男子個人戦60kg級	優勝	佐藤	峻登
男子個人戦73kg級	優勝	大島	亮彬
	2位	大島	喜諒
男子個人戦90kg級	2位	森山	諒
	2位	浦井	孝太郎
	3位	渡部	領一
◎陸上			
男子4×100mリレー	3位		
男子4×400mリレー	3位		
男子800m	2位	井守	優和
男子1500m	優勝	井守	優和
男子110mハードル	2位	田中	大地
男子三段跳	3位	田中	大真
女子100m	優勝	森	菜々子
	7位	岡崎	恵子
女子200m	優勝	岡崎	恵子
女子800m	2位	岡崎	恵子
女子1500m(地区大会のみ)	2位	岡崎	恵子
女子走幅跳	優勝	森	菜々子
◎バスケットボール			
男子	3位		
女子	3位		
◎水泳			
団体	総合優勝		
男子50m自由形	2位	金子	泰士
男子100m自由形	3位	佐藤	瑠唯
男子200m自由形	3位	大倉真一希	
男子400m自由形	優勝	山賀	大暉
	2位	武田	雅平
男子800m自由形	優勝	山賀	大暉
	3位	山際	大雅
男子100m背泳ぎ	優勝	山際	大雅
	3位	井嶋	稜之
男子100m平泳ぎ	2位	西木	航
男子200m個人メドレー	優勝	西木	航
	3位	佐藤	瑠唯
男子400mフリーリレー	2位	岡	伸哉
男子400mメドレーリレー	優勝		
女子50mバタフライ	3位	箭内	天依

平成28年度は、9つの部が全国大会へ出場しました。本同窓会からも、全国大会遠征費の一部を支援いたしました。



長岡高専見学御礼

(高専電気7回卒同級会)

2015年10月31日に専電7同級会を実施しました。参加者10名は長岡高専に集合し、同窓会事務局の神保様に構内の見学案内をして頂きました。当日は未工祭で賑っていました。卒業して42年が経ち、建屋は大きく変わっていましたが、校内のあちこちに昔の面影が残っており懐かしく感じました。母校を外から眺めることがあっても、やはり校内に入って見学できたことは大変良かったと思えました。片桐教授、高橋技官他協力して頂いた方に感謝します。

同級会は連絡できたのが21名で、10名が参加しました。42年ぶりにあった人もいましたが、しばらく話していると不思議なことに学生時代の面影がよみがえりました。

夜は市内の温泉旅館で懇親会をやり、楽しいひと時を過ごすことができました。またの再開を約束して今回の同級会を終えました。40年の会社生活を終えた我々シニア世代もまだまだ元気であることを、今の在校生の皆さんにも知って頂きたいと同窓会に投稿しました。シニアの方の投稿が増えることを期待します。



2015年10月31日 専電7同級会 蓬平温泉にて

退職のことば H26年退職

定年を迎えて

一般教育科教授

佐藤 公俊

この3月で定年退職となります。長岡高専赴任以来30年間、家内をはじめ、皆様から支えていただき、何とか勤めることができました。皆様に心より感謝いたします。

近年は人生「老いやすく学成り難し」の感があります。諸々の論文や共著書は出しますが、自分の包括的見解の著作が未完成で、何とかまとめたいと思っております。

30年間で印象深いことは、中越大震災で被害を受けた本校が皆様のご努力とご支援で見事復興を遂げ、私もお手伝いできたことです。5年前の東日本大震災の原発事故からの避難者は今も県内に数千人、長岡市に数百人います。継続した支援が必要です。

各学科の担任をするたびに、学生たちを何とか進級させようと頑張って励ましました。また、科目を教えた学生が立派になって本校に赴任し、同僚として話したのも感慨深いことでした。

インターアクトの顧問を29年間務め、国際ロータリー第2560地区インターアクト年次大会も三度主管しました。とくに、知っておいていただきたいのは、インターアクト部員の双葉寮訪問ボランティアです。40年近く代々継続して自主的に活動してきた部員たちに感謝しています。部員たちは留学生との国際交流や沖縄高専生との多文化交流も盛んに行っています。

今後も長岡高専の発展と学生諸君の成長を願い、それに貢献したいと思います。あと少し仕事を続けますが、茶飲み話などお付き合いいただければ幸いです。

退職のことば H27年退職

退職に際して



物質工学科

岩井 裕

この3月をもって本校を退職します。着任以来、皆様方には公私にわたり、心温まる御指導・御厚情を賜り、お蔭様で大過なく職責を全うすることが出来ました。心から感謝申し上げます。有難うございました。

着任早々集中豪雨の洗礼を受け、本県の自然の巨大なエネルギーを感じる事となりました。やはり中越地震の経験は自然の巨大さをまさに身をもって経験し、その後の東日本震災に思いをはせることになりました。そういつつも近隣の山々をのんびりと旅したりしたものです。

クラス担任では元気な学生を指導するに、おおい

にエネルギーをいただきました。なかには厳しい状況におかれた学生を見守ることもありました。どの程度の支援ができたか心許ないものもあり、慚愧の念も残ります。しかし卒業生は皆各界で活躍し、学会でもたびたびお会いしてはいろいろ情報交換させていただいています。

教育研究では、時宜に即したテーマを自由にやらせていただき感謝しています。人事交流で長岡技大に出向させていただいた折には「高温超伝導ファイバー」に出会い、大変貴重な経験をさせていただきました。最近では、公表後の研究を卒研究生と一緒に見直していたらすこし面白いことが見つかる幸運に恵まれました。往生際が悪いと言われそうですが、これをタネにして、これから1～2年ささやかながら延長戦を楽しませていただくことになりました。

長らくお世話になりました。これからもよろしく願います。

長岡高専ありがとう

学生課図書係

久保田 昌代



長岡高専での勤務は昭和55年（1980年）12月からですので35年になります。私は職業人としてのお大半を高専で過

ごしました。最初の10年余は庶務系、その後は図書館です。ホームグラウンドの図書館についてお話ししたいと思います。

私が図書館勤務になったころには、本の貸出・登録などは電子化されていましたが、今のクラウド型のシステムと違い、機械室に行って磁気テープでデータの吸い上げ・落とし込みが必要、異常終了にならないか、いつもドキドキしながら作業をしました。

PC・インターネットの普及でデータベースや電

子ジャーナルがなくてはならない存在になりました。郵送で届く雑誌と違い、世界中の人と同時に読むことができます。しかも出版前の論文まで。

残念なことは、本を読んだり、図書館で調べ物をする学生が少なくなったことです。

図書館の役割として学生の自主学習へのサポートも大きくなりました。グループ学習室などの充実、学習支援の実施などです。

大きな出来事は中越地震、書架が倒れてしまいました。段ボール詰めした本を学外に預け、書架を新たに作り、戻す作業。このときは多くの学生、教職員、新潟県内の大学図書館の方々にお世話になりました。

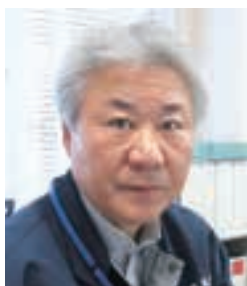
何よりの幸せは学生の皆さんと接することができたことです。高専に勤務することができて良かった。

多くの方にお世話になりました。ありがとうございます。

定年雑感

総務課専門員（施設担当）

片桐 正幸



平成13年2月1日（木）長岡高専に赴任して早15年、施設の振り返ってみれば、はじめは6号館新設、そして増

築。事前協議から設計、発注まで一係で成し遂げる高専施設事務の大変さを実感。つづいて4号館の耐震改修、法人化となり、中越地震災害復旧工事、エ

レベータ設置によるバリアフリー計画達成、寮の空調導入、第一体育館の屋根張替、等々。

中でも一番の大事業である中越地震災害復旧工事は、総事業費約74億円を17・18年度の2年で完成するというもので、多くの方々の協力の元に成しえたこと、感慨深いものがあります。

想えばこれらの事業を通して長岡高専に深く関わりながら定年まで勤めることができたことに、施設担当として幸せであったと感じております。

あらためて多くの方々の支援をいただいたことに感謝いたします。

教職員の異動 (平成26年3月～平成28年4月1日)

【退職】		【新任】	
平成27年3月31日付け		平成27年4月1日付け	
佐藤 公俊	一般教育科教授(社会)…………… 定年退職	堀口真利子	一般教育科准教授(国語)…………… 採用
浦田 和芳	一般教育科教授(数学)…………… 定年退職	富樫 瑠美	一般教育科助教(数学)…………… 採用
相原 勝	一般教育科教授(ドイツ語)…………… 定年退職	工藤 慈	機械工学科助教…………… 採用
近藤 俊美	機械工学科嘱託教授…………… 雇用期間満了退職	島宗 洋介	電気電子システム工学科准教授…………… 採用
丸山 一典	物質工学科嘱託教授…………… 雇用期間満了退職	佐藤 公俊	一般教育科特任教授(社会)…………… 再雇用
知野広太郎	教育研究技術支援センター技術職員… 雇用期間満了退職	浦田 和芳	一般教育科特任教授(数学)…………… 再雇用
矢野 昌平	電気電子システム工学科准教授……教員交流(長岡技術科学大学へ)	渡邊美奈子	教育研究技術支援センター技術職員 異動(新潟大学施設管理部より)…………… 採用
平成28年3月31日付け		平成28年4月1日付け	
岩井 裕	物質工学科教授…………… 定年退職	福田 昇	一般教育科教授(英語)…………… 採用
片桐 正幸	総務課専門員(施設担当)…………… 定年退職	中山雅友美	一般教育科助教(数学)…………… 採用
久保田昌代	学生課図書係長…………… 定年退職	小島由記子	環境都市工学科助教…………… 採用
山田 隆一	機械工学科嘱託教授…………… 再雇用期間満了退職	矢野 昌平	電気電子システム工学科准教授 出向期間満了復職(長岡技術科学大学より)
栗野 一志	物質工学科嘱託教授…………… 再雇用期間満了退職	岩井 裕	物質工学科嘱託教授…………… 再雇用
塩野 計司	環境都市工学科嘱託教授…………… 再雇用期間満了退職	片桐 正幸	総務課施設係事務支援職員…………… 再雇用
白井 岩夫	技術支援職員…………… 再雇用期間満了退職		
米崎 啓和	一般教育科教授…………… 辞職		
岩波 基	環境都市工学科教授…………… 辞職		

学科生及び専攻科生の進路状況

平成26年度 平成27年3月現在

■学 科

学科	区分	進路					求人状況		
		卒業者数	進学者数	就職者数		その他	求人数	求人倍率	県内求人数
				県内	県外				
機 械 工 学 科		39	27	6	6	0	438	36.5	32
電 気 電 子 シ ス テ ム 工 学 科		37	21	6	8	2	437	31.2	24
電 子 制 御 工 学 科		38	31	4	3	0	397	56.7	26
物 質 工 学 科		41	26	4	9	2	147	11.3	11
環 境 都 市 工 学 科		35	24	5	6	0	235	21.4	35
計		190	129	25	32	4	1,654	29.0	128

※県内求人数内数

■専 攻 科

専攻	区分	進路					求人状況		
		修了者数	進学者数	就職者数		その他	求人数	求人倍率	県内求人数
				県内	県外				
電子機械システム工学専攻		21	9	3	9	0	996	83.0	65
物質工学専攻		9	2	3	4	0	80	11.4	10
環境都市工学専攻		7	3	1	3	0	235	58.8	35
計		37	14	7	16	0	1,311	57.0	110

※求人数は学科分も含む

平成27年度 平成28年3月現在

■学 科

学科	区分	進路					求人状況			
		卒業者数	進学者数	就職者数		その他	求人数	求人倍率	県内求人数	
				県内	県外					
機 械 工 学 科		34	17	16	12	4	1	620	38.8	95
電 気 電 子 シ ス テ ム 工 学 科		43	34	9	3	6	0	508	56.4	38
電 子 制 御 工 学 科		40	34	6	5	1	0	410	68.3	31
物 質 工 学 科		42	37	5	2	3	0	155	31.0	21
環 境 都 市 工 学 科		46	31	15	10	5	0	303	20.2	58
計		205	153	51	32	19	1	1,996	39.1	243

※県内求人数内数

■専 攻 科

専攻	区分	進路					求人状況			
		修了者数	進学者数	就職者数		その他	求人数	求人倍率	県内求人数	
				県内	県外					
電子機械システム工学専攻		22	10	12	5	7	0	1,277	106.4	140
物質工学専攻		8	1	7	2	5	0	135	19.3	21
環境都市工学専攻		6	0	6	6	0	0	303	50.5	58
計		36	11	25	13	12	0	1,715	68.6	219

※求人数は学科分も含む

同窓会長賞受賞者紹介

■平成26年度同窓会長賞 受賞者

	氏名	学科	所属	理由
1	品川 彰	Ci	柔道部	H22～26 全国高専体育大会出場 H26 全国高専体育大会 団体戦3位 H22,24,26 関東信越高専大会 団体優勝 H23,25 関東信越高専大会 団体準優勝
2	木原 心	M	ロボティクス部	2013 ロボカップジュニア全国大会 サッカーセカンダリ部門 優勝 2013 ロボカップジュニア世界大会 サッカー Open League 出場
3	高橋 佑介	EE	ロボティクス部	2013 ロボカップジュニア全国大会 サッカーセカンダリ部門 優勝 2013 ロボカップジュニア世界大会 サッカー Open League 出場
4	関 龍	EC	ロボティクス部	2013 ロボカップジュニア全国大会 サッカーセカンダリ部門 優勝 2013 ロボカップジュニア世界大会 サッカー Open League 出場
5	五十嵐達生	EE	バレーボール部	H25～26 全国高専体育大会 出場 H25 関東信越地区高専体育大会 準優勝 H26 関東信越地区高専体育大会 優勝
6	中山 祐一	EE	バレーボール部	H25～26 全国高専体育大会 出場 H25 関東信越地区高専体育大会 準優勝 H26 関東信越地区高専体育大会 優勝

■平成27年度同窓会長賞 受賞者

	氏名	学科	所属	理由
1	坂詰 康也	Ci	写真部	H27 第54回富士フィルムフォトコンテスト フォトブック部門大賞 H27 BSN 新潟遺産写真コンテスト 観光・まつり・イベント部門 優秀賞, 第四銀行特別賞 H27 第7回木と合板コンテスト 建材の部 最優秀賞 H27 第11回モンキーセンターアニマルフォトコンテスト 犬山市教育委員会賞
2	森山 諒	Ci	柔道部	H25 関東信越高専体育大会 団体 準優勝 H26 関東信越高専体育大会 団体 優勝, 90kg 級2位 H27 関東信越高専体育大会 団体 優勝, 90kg 級 優勝 H25 全国高専体育大会 団体 出場 H26 全国高専体育大会 団体3位, 90kg級3位 H27 全国高専体育大会 団体3位, 90kg級出場
3	渡部 領一	MB	柔道部	H23 関東信越高専体育大会 団体準優勝 H24 関東信越高専体育大会 団体優勝 H25 関東信越高専体育大会 団体準優勝 H26 関東信越高専体育大会 団体優勝, 90kg級3位 H27 関東信越高専体育大会 団体優勝, 90kg級3位 H23-25 全国高専体育大会 団体出場 H26-27 全国高専体育大会 団体3位
4	金塚 裕也	EC	英語部	H24 関東信越高専英語弁論大会 スピーチの部1位 H24 全国高専英語プレゼンテーションコンテスト2位

	氏名	学科	所属	理由
5	西山 真史	EC	水泳部	H23 長岡市市民体育祭水泳大会50m自由形6位, 200m個人メドレー4位 H23 関東信越高専体育大会100m平泳ぎ5位, 200m平泳ぎ3位, 400mフリーリレー7位 H24 関東信越高専体育大会100m平泳ぎ6位, 200m平泳ぎ2位, 400mフリーリレー7位 H25 関東信越高専体育大会100m平泳ぎ3位, 200m平泳ぎ2位, 400mフリーリレー3位, 400mメドレーリレー3位 H26 関東信越高専体育大会50m自由形4位 H27 関東信越高専体育大会200m平泳ぎ5位 H23 全国高専体育大会200m平泳ぎ出場 H24 全国高専体育大会200m平泳ぎ出場 H25 全国高専体育大会100m平泳ぎ, 200m平泳ぎ出場
6	清水 真穂	MB	水泳部	H25 関東信越高専体育大会100m自由形6位, 50mバタフライ6位, 200mフリーリレー優勝 H26 関東信越高専体育大会100m自由形6位, 50mバタフライ6位 H27 関東信越高専体育大会100m自由形5位, 50mバタフライ5位, 200mフリーリレー4位 H25 全国高専体育大会200mフリーリレー3位
7	岡 伸哉	Ci	水泳部	H23 関東信越高専体育大会400m自由形4位, 800m自由形3位, 400mフリーリレー7位 H24 関東信越高専体育大会200m個人メドレー5位, 800m自由形2位, 400mフリーリレー7位 H25 関東信越高専体育大会400m自由形3位, 800m自由形2位, 400mフリーリレー3位, 400mメドレーリレー3位 H26 関東信越高専体育大会200m自由形4位 H27 関東信越高専体育大会200m個人メドレー3位 H23 全国高専体育大会800m自由形8位 H24 全国高専体育大会800m自由形9位 H25 全国高専体育大会400m自由形参加, 800m自由形11位 H23 全国高専体育大会200m平泳ぎ出場 H25 全国高専体育大会100m平泳ぎ, 200m平泳ぎ出場 H27 全国高専体育大会200m自由形出場
8	中川 雅斗	EE	バレーボール部	H25 関東信越高専体育大会準優勝 H26 関東信越高専体育大会優勝 H25-27 全国高専体育大会出場
9	西脇 和希	EE	バレーボール部	H25 関東信越高専体育大会準優勝 H26 関東信越高専体育大会優勝 H25-27 全国高専体育大会出場
10	長谷川 歩	Ci	バレーボール部	H25 関東信越高専体育大会準優勝 H26-27 関東信越高専体育大会優勝 H25-27 全国高専体育大会出場
11	林 智哉	MB	バレーボール部	H25 関東信越高専体育大会準優勝 H26-27 関東信越高専体育大会優勝 H25-27 全国高専体育大会出場

■ ■ ■ ■ 平成26年度収支報告 ■ ■ ■ ■

収入の部

(単位：円)

摘要	決算	備考
前年度繰越金	2,991,963	
会費	3,135,000	¥15,000×209人
利息	684	
名簿代金	38,140	¥3,000×13冊
寄付金	0	
50周年記念誌販売	587,480	記念誌売上代金(246冊)
雑収入	0	
収入合計	6,753,267	

支出の部

摘要	決算	備考
会報発行費	1,279,578	平成26年度会報発行(7,600部)
会員案内費	1,309,993	記念誌販売案内
記念誌発送料	270,104	記念誌発送一式(240冊) 購入不可通知(280冊)
名簿メンテナンス料	54,000	名簿メンテナンス年間契約料
事務費	10,354	振込み手数料等
旅費・日当	162,730	理事会、全国高専同窓会
会議費	38,800	理事会、全国高専同窓会
卒業証書ファイル	180,180	同窓会名入り(195+25)名分
通信費	26,535	現金書留、レターパック、切手
支部結成補助費	0	
支部補助費	0	
人件費	90,000	役員手当
同窓会長賞	72,420	受賞者10名分(平成25年度)
学校補助費	380,461	サイエンスフェスタ、 リケナビ、ユニフォーム
終身会員費返還	210,000	終身会員返還費(¥10,000×21名分)
予備費	196,372	香典、餞別、ロゴマーク英文表記
当年度支出合計	4,281,527	
次年度繰越金	2,471,740	
支出合計	6,753,267	

■ ■ ■ ■ 平成27年度収支報告 ■ ■ ■ ■

収入の部

(単位：円)

摘要	決算	備考
前年度繰越金	2,471,740	
会費	3,195,000	¥15,000×213人
利息	566	
名簿代金	0	
寄付金	0	
雑収入	0	
収入合計	5,667,306	

支出の部

摘要	決算	備考
総会補助費	762,583	総会補助費用
名簿メンテナンス料	254,070	名簿メンテナンス年間契約料
事務費	2,994	振込手数料等
旅費・日当	245,080	理事会、全国高専同窓会
会議費	3,000	理事会
卒業証書ファイル	196,650	同窓会名入り(190+35)名分
通信費	29,430	現金書留、レターパック、切手
支部結成補助費	0	
支部補助費	0	
人件費	90,000	役員手当
同窓会長賞	43,640	受賞者6名分(平成26年度)
学校補助費	0	
終身会費返還費	200,000	終身会員返還(¥10,000×20名分)
予備費	516,355	金庫解錠、香典、ISATE開催補助
当年度支出合計	2,343,802	
次年度繰越金	3,323,504	
支出合計	5,667,306	

■ ■ ■ ■ 平成27年度資産内訳 ■ ■ ■ ■

資産内訳(平成28年2月29日)

(単位：円)

	金融機関	支店	口座	残高
通常会計用	大光銀行	中沢	普通	2,588,365
	郵貯銀行	栖吉	普通	94,703
	郵便振替口座			616,566
	現金			23,870
基金積立用	大光銀行	中沢	定額	10,000,000
	北越銀行	本店	定期	3,162,366
	郵貯銀行	栖吉	定期	8,145,590
	大光銀行	中沢	普通	1,873,336
合計				26,504,796

新常任理事あいさつ

(高専電気21回卒) 市村 勝己



平成26年9月より一般教育科（英語）で准教授として勤務しております。本校電気科卒業後は約20年間、化学会社に勤務し主に半導体材料関係で欧米顧客の技術担当の業務に従事、この間2年休職して英国のロンドン大学クイーンメリー校に留学し学位を取

得、その後スコットランドでの海外勤務などを経験しました。退職後は長岡で英会話教室事業を立ち上げました。現在の校務としましては、1年5組の担任の他、国際交流推進センター長として留学生受け入れプログラム等のサポートを行っております。また、今年度長岡市が申請し採択されました、文科省のトビタテ！留学 JAPAN では地域コーディネータを務めております。微力ではございますが、国際感覚を持ち、そして英語が使える学生の育成に尽力して参りますので、ご支援・ご指導の程、何卒宜しくお願い申し上げます。

(高専電気29回卒) 島宗 洋介



平成27年度4月1日付で電気電子システム工学科に赴任してまいりました島宗洋介と申します。95年の3月に本校の電気工学科を卒業、大学編入、2002年に博士号を取得し、その後は民間企業において半導体プロセスの研究開発

から量産立ち上げに従事してきました。振り返れば、様々な場面で本校で培った専門知識や基礎的なものの考え方を実践で生かすことができた実感しています。このたび同窓会の学内理事を務めさせていただくことになりました。教員としても理事としても経験乏しい限りですが、一日も早く一人前として仕事ができるよう、諸先輩方にご指導いただきながら日々精進してまいりたいと思います。今後ともよろしくお願い申し上げます。

(高専電子制御10回卒) 渡邊 美奈子



平素より温かいご支援を賜り、感謝申し上げます。

私は、平成16年3月に本校電子制御工学科を卒業後、国立大学理学部へ編入し修士号を取得致しました。民間企業でのインフラ設備の設計・検査業務経験を経て、国立大学法人等職員へ転身、施設系技術職員として大学構内の保全業務・改修工事等に携

わって参りました。その後、平成27年4月の人事異動により、教室系技術職員として本校に着任し、現在は電気電子システム工学科(旧 電気工学科)の学生の実験指導等に従事しております。実験では学生の安全に配慮した指導を行うことは勿論ですが、自らの職務経験を活かした実践的な話を交えた解説を行うなど、学生の興味・関心を引く指導を行うよう心掛けております。

まだまだ半人前でございますが、私を育ててくれた母校に恩返しをすべく、後輩達の教育に全力を尽くす所存でございます。今後とも、ご支援・ご指導を賜りますよう、宜しくお願い申し上げます。

(環境都市9回卒) 小島 由記子



本年度より環境都市工学科助教として勤務しております小島由記子と申します。私は平成20年に本校を卒業しましたが、休み時間に聞こえてくる楽しそうな学生の声や、活気あふれる校内の様子は昔と

少しも変わりません。今は大好きな母校に帰ってきた嬉しさを感じると同時に、教員としての新しいスタートに身の引き締まる思いです。

私は本校卒業後、筑波大学に編入学し、地震の発生メカニズムについて研究してきました。今後はこれまでの研究を生かし、防災の分野で地域に貢献できるような研究をしていきたいと考えています。また、学内理事として長岡高専同窓会に貢献していきたいと思っておりますので、どうぞよろしくお願いたします。

事業年表（平成26, 27年度）

<平成26年度事業報告>

- 4月1日 同窓会常任理事就任(押木氏、金子氏、込山氏)
H22年度版 同窓会名簿販売開始
- 5月 新会員データ入力、名簿データの修正
- 6月11日 第1回常任理事会開催
- 8月31日 同窓会常任理事 総務転出(高橋氏)
- 9月1日 同窓会常任理事就任(市村氏)
同窓会常任理事 総務就任(上村氏)
- 9月 会員案内送付(住所確認、創立50周年記念誌案内)
- 10月21日 第2回常任理事会開催
- 11月22日 第5回全国高専同窓会連絡会出席(副会長)
- 11月26日 中途退学者への終身会費返還(21名)
- 12月24日 名簿メンテナンス契約締結(1年間)
- 1月16日 同窓会長賞推薦依頼(学内教職員、2月4日締め切り)
- 2月17日 第3回常任理事会 同窓会長賞推薦候補者の選考
- 2月 創立50周年記念誌の販売・配付
- 3月2日 平成26年度 理事総会
- 3月中旬 会報18号発行

<平成27年度事業報告>

- 4月1日 同窓会常任理事就任(鳥宗氏、渡邊氏)
- 6月16日 第1回常任理事会開催
- 6月19日 新会員データ入力、名簿データの修正
- 9月16-18日 国際会議 ISATE 開催費用支援
- 9月30日 50周年記念誌再販売終了
- 10月24日 平成27年度高志会総会案内状発送
第10回機械工学科同級会見学対応
- 10月31日 第7回電気工学科同級会見学対応
- 11月21日 第7回全国高専同窓会連絡会出席(副会長、事務局長)
- 11月28日 平成27年度高志会総会開催
- 12月22日 名簿メンテナンス契約締結(1年間)
- 1月19日 同窓会長賞推薦依頼(学内教職員、2月3日締め切り)
- 2月9日 第2回常任理事会 同窓会長賞推薦候補者の選考
- 2月下旬 中途退学者への終身会費返還(20人)
- 3月11日 平成27年度理事総会

高志会の活動紹介

高志会は、長岡高専同窓会の発展と会員相互の親睦のために活動しています。主な活動としては、(1)高志会総会の開催、(2)同窓会報の発行、(3)高志会会員名簿のメンテナンスの3つがあり、毎年1件ずつ、それぞれ3年毎に実施してきました。高志会の根幹となる会員情報につきましては、継続してメンテナンスを行っております。名簿発行につきましては、平成22年を最後に冊子体は廃止となりましたが、用途別の印刷紙面による発行を行っております。同級会の開催などのための会員名簿の提供については事務局までお問い合わせください。作年度は高志会総会、今年、会報第19回の発行をさせていただきました。

これら主な3つの活動の他、毎年卒業式後に行なわれる学生表彰において、在校時の課外活動で優秀な成績を収めた卒業生に対して同窓会長が「同窓会長賞」を記念品と共に直接授与しています。また、毎年、卒業生・専攻科修了生全員には、卒業・修了証書カバーの提供を行なっています。さらに、部活動等の課外活動に励む熱心な学生への支援も行っております。

これら高志会の活動や各種情報はホームページに掲載しております。こちらもぜひ御覧下さい(URL:<http://www.nagaoka-ct.ac.jp/dousoukai/>)。ご意見等ございましたら、事務局までお寄せください。

(事務局長 高専化学11回卒 坂井俊彦)

個人情報の取り扱いについて

同窓会高志会が収集した個人情報は、同窓会名簿の作成及び会報などをお送りするための宛名出力の付帯業務に使用することを目的としており、それ以外には利用いたしません。

収集した個人情報について、委託先も含め、機密保持には万全を尽くします。

自己情報を照会したい場合は、同窓会高志会までご連絡ください。本人であることが確認できた場合に限り、開示いたします。その結果、訂正または削除を希望される場合はそれに応じます。

● 振り込め詐欺にご注意ください ●

本校卒業生の家族宛てに、卒業生の名を騙り振り込め詐欺と思われる電話がかかってくるケースが多数報告されています。卒業生の方は、ご家族の方が振り込め詐欺の被害に遭わないように、連絡を取り合い、被害を防止するようお願いいたします。

同窓会では、平成22年度版を最後に名簿の発刊を中止しておりますが、同窓会名簿をお持ちの方は取り扱いに細心の注意をお願いいたします。

編 集 後 記

昨年は高志会総会、今年、同窓会報発行と順に行ってまいりました。いずれも、皆様のご協力により無事に執り行う事ができました。心から感謝申し上げます。本校を卒業されてから、節目の年には同級会や同窓会を開催されている方が多いのではないのでしょうか。

青春と呼ばれる時代を長岡高専で過ごし、苦楽を共にした仲間は強烈に記憶され、何年経っても忘れられないからだと思います。本校も半世紀を経て、親御様が本校の卒業生である在学生も増えており、本校の風土が育んだ縁を感じます。

本同窓会では、同級会を開催する際に校内を見学したいという、卒業生のご要望にもお応えしております。H18年に復旧工事を行っておりますが、それ以前の名残も所々に残っており、来校された卒業生の、こんなのがあったなあ、あんなのはなかったなあ、懐かしむ声を耳にします。私事ではございますが、本科を卒業してから15年を超えても当時の思い出は多く、良い時間を過ごしていたのだと思います。校舎見学だけでなく、ご要望などがありましたら同窓会事務局までご連絡ください。今後とも皆様のご支援をよろしく申し上げます。

(高専電気34回卒 神保 和夫)

書籍紹介

「目指せ！プロフェッショナルエンジニア われら高専パワー全開」
(独)国立高等専門学校機構 産学連携・地域連携委員会

「社会で活躍する高専卒業生たち」編集委員会編(日刊工業新聞社)
定価 1,600円+税

・昭和37年に創設された高専は、これまで約35万人の卒業生を世に送り出し、社会で卓越した活躍をし、多くの足跡を残してきました。この本では、そんな卒業生の活躍を広く知ってもらうという企画のもと、幅広い分野の高専卒業生を取り上げたものです。

長岡工業高等専門学校同窓会高志会

〒940-8532 長岡市西片貝町888

長岡工業高等専門学校内

電話：0258(34)9442

電子メール：kosikai@nagaoka-ct.ac.jp

ホームページ：

URL:<http://www.nagaoka-ct.ac.jp/dousoukai/>